

8月下旬以降に連続して収穫できる モモの新品種を2品種育成しました



8月下旬に成熟する
「岡山モモ11号」



9月上旬に成熟する
「岡山モモ14号」

開発のねらい

オリジナル品種による「岡山白桃」のシリーズ化のため、有望品種の少ない8月下旬以降に連続して収穫でき、大果で果皮着色しにくく、糖度が高くて食味の優れるモモの新品種を2品種育成しました。

新技術の概要

- 「岡山モモ11号」は、「おかやま夢白桃」に「白麗」を交配した品種で、果皮着色しにくく、大果で糖度が極めて高く、肉質がち密で食味が優れ、8月下旬に成熟します。
- 「岡山モモ14号」は、「清水白桃」の自然交配で得られた品種で、果皮着色しにくく、大果で糖度が高く、果肉が軟らかくて食味が優れ、9月上旬に成熟します。

活用場面

この2品種は、「白麗」の後に続いて収穫でき、岡山ならではの高品質な白いモモが長期間、安定して市場に供給できることから、「岡山白桃」のブランド強化につながり、生産農家の収益性の向上に役立ちます。